



ドイツ

子どもを乗せるトレーラーに潜む危険

商品テスト財団『テスト』2024年8月号 <https://www.test.de/Fahrradanhaenger-im-Test-1859173-0/>

商品テスト財団ウェブサイト <https://www.test.de/Kindertransport-mit-dem-Fahrrad-Was-ist-am-sichersten-5776176-0/>

自転車専用道路が整備されているドイツでは、6歳くらいまでの子どもを自転車で「運ぶ」ための商品も豊富で、日本で見かけないタイプも多い。例えば、大人の自転車に取り付けて牽引するリヤカー型のトレーラーは、取り外すとベビーカーとしても使える。犬専用のトレーラーもある。また、自転車本体に箱型の荷台が付いたカーゴバイクも普及している。さらに、前輪を取り外した子ども用自転車を、大人用自転車に取り付けるタイプのトレーラーもある。大人に牽引されながら、子どももペダルをこぐ。

商品テスト財団は、リヤカー型の子ども乗せトレーラー10商品（2人乗り7商品、1人乗り3商品）を対象に、走行性、安全性、有害物質の有無等をテストした。その結果、全商品が総合的に不合格という驚くべき事態となった。同財団が憂慮するのは、全商品

の座席等から、健康と環境に有害なPFAS（ペルフルオロアルキル化合物とポリフルオロアルキル化合物の総称）が高濃度に検出されたことである。特に、9商品に含まれていたPFASは禁止物質だという。トレーラーに乗せられる子どもに直接健康リスクが生ずるわけではないとしつつも、同物質が環境に蓄積するなどして、食品を通して人間の体内に取り込まれる可能性を指摘する。また、多環芳香族炭化水素、フタル酸類などほかの問題物質も検出されたとのことである。

さらに、子どものダミーを使った安全性テストでは、4商品が不合格となった。トレーラーが傾いた際、子どもの頭部が硬い部材の上に逆さまに激突するなど、重傷を負うおそれがあると注意を呼びかけている。



フランス

アスリート向けサプリメントで死亡事故も

“QUE CHOISIR” 2024年7月20日掲載

<https://www.quechoisir.org/actualite-complements-alimentaires-pour-sportifs-l-anses-alerte-apres-2-deces-n128986/>

Anses（食品環境労働衛生安全庁） <https://www.anses.fr/fr/content/complements-alimentaires-aliments-enrichis-sportifs>

アスリートをはじめスポーツジム愛用者の中には、筋肉量を増やしたり、脂肪量を減らす目的でサプリメントを利用する人が少なくない。これらの商品はスポーツジムやインターネットで簡単に入手できるが、健康被害も発生している。Ansesの栄養監視システムには、2016年1月～2024年2月にサプリメントを摂取して副作用が出たという報告が154件あり、そのうち18件が重篤な症状で、死者は2人だったという。心臓血管系に悪影響を及ぼす例が目立つとのことである。もっとも、副作用が発生しても報告されとは限らないことから、Ansesは氷山の一角である可能性が高いと推定する。

この監視システムの開始は2009年11月。サプリメント、栄養強化食品、新規食品*等によって発生し

た副作用を迅速にキャッチし、消費者の健康を守ることが目的である。開始以来、2022年12月までに受けた報告は合計7,946件だが、近年は増加する傾向にあり、年平均1,000件程度になるという。医師、薬剤師、助産師、栄養士、製造業者、流通業者等が、専用サイトから報告するしくみである。また、消費者も報告可能だが、Ansesは消費者（患者）から相談を受けた医療関係者が報告することを勧めている。Ansesが受理した情報をもとにして、これまで、^{ベニコウジ}紅麹サプリメント、エナジードリンク等のリスク評価が公開され、注意喚起に活用されている。

Ansesは、●複数商品の併用や医薬品との併用を避けること ●事前に医療専門家等に相談すること ●ネットでの購入を避けることを助言する。

* 1997年5月15日以前にEU域内でほとんど消費されていなかった食品（EUの新規食品規則に基づく）